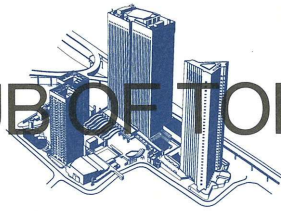




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツァ会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部一 元会長

本日の例会 11月5日 第631回例会

◎次年度（2000～2001年度）理事・役員候補者指名

◎卓話「臓器移植応援団」

ビバ・トランスプランテーション

代表 木村 春江 氏

先週報告 10月29日 第630回例会

ガバナー公式訪問

東京南・東京新南合同例会



◎卓話

「ガバナー公式訪問に際して」

1999-2000年度

RI 第2750地区ガバナー

小林 禮次郎 氏

ただ今ご紹介いただきました1999～2000年度第2750地区のガバナーの小林です。

今日は、カルロ・ラビッツァRI会長のお話を中心に、本年度のロータリーの活動方針につきましてお話し致します。カルロ・ラビッツァ会長はイタリアミラノ出身の方で、建築関係の設計事務所を経営されています。

「ミレニアム」を迎える

本年度の方針の一番大事なことは、テーマの「ロータリー2000」という点です。ヨーロッパとかアメリカでは西暦が始まってから二度目の2000年を迎える意味で、ミレニアムと言っています。ミレニアムというのは千年紀という言葉で、最近日本でもだんだんこの言葉が新聞やテレビでも出るようになりました。

この2000年紀にロータリーはどうあるべきかについて、カルロ・ラビッツァ会長は、「柔軟な改革が必要である」ということを強調しております。

彼は、演説でも、1930年（昭和5年）6月24日にポール・ハリスが言った言葉、『ロータリーがその運命を適正に実現しようとするなら、ロータリーはいつも進展し続け、時には革新的にすらならなければなりません』を引用して、この歴史的な言葉はロータリー創立25年後に当てられたものであると語りました。

ロータリー2000活動のテーマは、堅実・信望・持続であり、ここからはあまり改革の匂いがしないわけですが、この2000という言葉の陰には「過去の伝統を考えた上に、新しい時代に対応していこう」という会長の思いが伏線として隠されていると、私は感じました。

堅実・信望・持続を基本に

ロータリー2000活動の「堅実」とは、2000年を迎え、ロータリーの過去の規則は守りましょうということです。ロータリーが非常に拡大発展したために、国によってはロータリーの規則が守られないクラブも出てきたようです。もっとも、日本は非常に真面目に運用されていますから、こうした心配はありませんが。

ただ、日本でも問題なのは会員増強の問題です。日本では不況で会員が減りましたが、世界でも1%会員が減ったそうです。ラビッツァ会長は、コンピュータ世代の若い人々のクラブに対する関心が多少薄くなってきたと言っておりまして。減少は1%ですが、会長は将来に対して危機感を持たなければいけないとして、会員増強の必要性を話されました。

それともう一つ、ここで皆様に申し上げたいのは女性会員についてです。世界では7%が女性会員であり、今回の大会に集まった約500人のガバナーのうち、23人が女性でした。日本では女性会員は1.7%ですが、世界はもうすでに女性ガバナーの時代になってきていることをご報告いたします。

次に「信望」ですが、ロータリーの綱領あるいは職業奉仕の精神によって世間から信望を受けてきた伝統を、これからも守っていきましょうという意味です。

「持続」とは、たとえば、海外との人道的プログラムのように、1年で済まないものがたくさんありますが、そういう場合には、ぜひ、特に財団関係の委員長とか委員の方は少し長く続けていただいて、目標を達成しようではないか、ということです。

ラビッツァ会長は「堅実・信望・持続」という言葉を通じて、「2000年を迎えて足を踏ん張ってしっかりやりましょう」と伝えようとしたのだと思います。

ロータリーの精神を未来へ

余談ですが、日経新聞が10月1日にミレニアム特集号を出しました。この中に、経済学あるいは技術系の学者さん25名を選んでミレニアム委員会をつくり、「50年後に

実現性の高い科学技術」についてアンケートをとった結果が載っているの、ご紹介します。

1番が癌によく効く新薬の開発、2番目が自動的に翻訳する機械。3番目は東京とニューヨークが3時間で飛べる飛行機。4番目にロボットの家政婦。このほか、砂漠で稲ができるバイオ技術や、火星に住めるとか、痴呆老人ゼロの達成とか、非常に明るい話が挙がっていました。

2000年紀には、人口増加、環境問題、民族対立、麻薬など暗い見方もありますが、ロータリーの綱領、職業奉仕の精神は、科学技術を使って人間がもっと明るい2000年紀を迎えるようにすることであり、2000年紀はそういうことが大事ではないかなと感じております。

また、この25人の有識者の中で、生き甲斐に5名がボランティアを、4名が地域活動を挙げていました。これもロータリーの精神が必要とされる証だと思います。

2000年紀への船出

いよいよ2000年紀を迎えるわけですが、2000年にはいろいろな行事があります。

まず、2001年には、3年に1回の規定審議会があります。これはロータリーを変えるチャンスです。

2004年には4分の1世紀ぶりに日本で国際大会が行われます。大阪ドームに外国から2万人、日本から3万人が参加して行われる予定です。

2005年はロータリー100周年です。それと同時にポリオ撲滅の年です。ポリオ撲滅はロータリーの最大の功績です。これから5年間の監視期間において、完全になくなったことを確認してゆくわけです。

いよいよロータリーの2000年紀への航海が始まります。行事もたくさんあります。

皆様のロータリーでのますますのご活躍をお祈りいたしまして、私の卓話を終えたいと思います。

(まとめ 吉田武)



◎10月29日例会前 11:00～12:00

ガバナー・会長・会長エレクト・幹事懇談会がありました。

◎出席報告

●会員70名／出席43名・欠席27名(出席規定免除者7名)

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉眞史

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

11月行事予定 11月はロータリー財団月間です

2日(火) 火曜会 18:00～19:30

東京全日空ホテル 37F アストラル

5日(金) ・次年度(2000～2001年度)

理事・役員候補者指名

・11月定例理事会 例会後13:40～15:00

東京全日空ホテル 1F 孔雀

・千代田分区CグループIM打合せ会

学士会館 301号室 16:00～17:00

6日(土)～7日(日)

秋の親睦旅行会

～山形、酒田を訪ねる旅～

[親睦活動・職業奉仕委員会共催]

15日(月) 地区米山奨学委員長会議 15:00～17:00

京王プラザホテル 43F ムーンライト

16日(火) 千代田分区CグループIM

学士会館 14:00～16:30

26日(金) クラブフォーラム 例会後13:40～15:00

東京全日空ホテル B1 八雲

テーマ①「千代田分区CグループIMの報告」

②「ロータリーの人道的援助と

これからの国際奉仕の在り方」

29日(月) 千代田分区IM反省懇談会 18:00～

日本工業倶楽部 3F 中食堂



10月29日／12件 35,000円

99～2000年度累計 574,300円

多額の御寄付を有難うございました。

渡部一元／小林ガバナー、ようこそお越し下さいました。南クラブの皆様、本日は宜しく願いいたします。山下忠治／小杉眞史／武下朗／小杉修造／相澤成憲／川鍋二郎(以上同様のメッセージでしたので割愛させて頂きました。)山川政樹／良いお天気です。荒木昭文／先週お誕生日プレゼント有り難うございました。西澤正雄／来週は親睦旅行ですね。楽しみにしています。鈴木康一／寒くなったり暖かたり、風邪対策はぬかりなく。谷義一／メイクアップが続きました。お久しぶりですが、皆様お元気でニコニコです。

次週予告 11月12日 第632回例会

クラブセミナー

「アーサー・フレデリック・シェルドン」について
ーサーヴィスの思想ー

ロータリー情報委員長 馬場 一廣 君

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、

後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、

村山 公士、田中 武、圓谷 正和、

保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武